



昭和61年度

第16回 全国中学校選抜バドミントン大会



期日 61.8.22~24 会場 真岡市総合体育館





マークは全国中学校  
体育連盟の登録商標です

J. P. ACE

トレーニングウェア

1型モデル(C/#7)



マークの商標使用料は、  
全国中学校選抜競技大会を  
はじめとする全国中学校体  
育連盟の諸活動を支える重  
要な資金としてお役に立っ  
ております。



総発売元

**アオイ商事株式会社**

製造元

**株式会社 葵**

東京都江東区深川2丁目24番12号 電話03-643-5801(代表)  
秩父工場 秩父市中宮地町29番21号 電話0494-22-5241

# 目 次

1. ごあいさつ	
全国中学校体育連盟会長	鈴木 誠太郎 …… 2
文 部 大 臣	藤 尾 正 行 …… 2
栃 木 県 知 事	渡 辺 文 雄 …… 3
真 岡 市 長	菊 地 恒三郎 …… 3
栃木県教育委員会教育長	池 嶋 和 雄 …… 4
真 岡 市 教 育 長	小 林 茂 …… 4
(財) 栃木県体育協会会長	渡 辺 文 雄 …… 5
(財) 日本バドミントン協会会長	桜 内 義 雄 …… 5
栃木県バドミントン協会会長	岩 崎 純 三 …… 6
栃木県中学校体育連盟会長	大 房 信 一 …… 6
2. 大会役員	7
3. 競技役員	9
4. 大会要項	11
5. 競技上の注意	13
6. 開会式次第	14
7. 大会日程	15
8. タイムテーブルと会場練習	16
9. 組 合 せ	17
10. 選手名簿	23
11. 過去の栄冠	27
12. 実行委員会	31

## あ い さ つ



全国中学校体育連盟

会長 鈴木 誠太郎

昭和61年度、全国中学校選抜競技大会夏季15種目の開催地を、関東ブロック1都6県をお願いいたしましたところ、本日第16回全国中学校選抜バドミントン大会を鬼怒川の東、工業団地として発展する真岡市で開催できましたことを心からお喜び申し上げます。

さて、全国大会に参加された選手の皆さん！皆さんは各都道府県大会やブロック大会を見事に勝ち抜き、選ばれて参加されました。その日ごろの努力と栄光をたたえます。また、これまでにご指導いただいた指導者及び学校関係者に深く敬意を表します。

また、皆さんはそれぞれの種目の各地域、学校代表として、個人種目では記録への挑戦を、団体種目では技とチームワークを基として、鍛え抜かれた心・技・体の実力を十分発揮され、本年度の中学チャンピオンを目指して下さい。そして試合の合間には全国や地元の皆さんと楽しい思い出となる友情の輪を広げて下さい。

皆さんの夢とロマンを実現するために、競技においてはルールやマナーを守り、正しいプレーをされ、全力を尽されるよう望みます。

おわりに、本大会を開催するにあたり、長い期間をかけて準備して下さい、細かな点までお心づかいをいただきましたすべての主管団体・関係者の皆様に、心から感謝申し上げあいさついたします。

## あ い さ つ



文部大臣 藤尾 正行

昭和61年度全国中学校選抜競技大会が、開催されるに当たり、一言お祝いの言葉を申し上げます。

近年、高齢化社会の進展や余暇時間の増大に伴い、日常生活の中でスポーツに親しみ、健康で充実した人生を送ろうとする人たちが増えてきておりますが、そのためには、早い機会にスポーツの魅力に触れ、基礎体力を向上させることが肝要であります。

特に中学生の3年間は、人間の心や体が急速な成長を遂げる大変重要な時期であります。この時期に体育・スポーツに励み、健全な心と体を培うことは、生涯にわたって明るく充実した生活を送る上で、大いに役立つものであります。

選手諸君、全国大会出場本当におめでとう。諸君は、日頃の努力と厳しい練習の積み重ねが実を結び、栄えある全国大会出場の栄誉を得られました。その感激もひととき大きいことと存じます。どうか、これまでの練習の成果を十分に発揮し、この中学生のスポーツの一大祭典を盛り上げて下さい。そして、全国から集まった友達と親睦を深め合ってください。本大会における経験を通じて、諸君がより大きく成長することを願ってやみやせん。

最後に、本大会の開催に当たり尽力された関係者の皆様に深く敬意を表するとともに、本大会が今後益々発展することをお祈りして、お祝いの言葉といたします。

## 歓迎のあいさつ



栃木県知事 渡辺 文雄

全国各地から参加された選手、並びに役員の皆さん、ようこそおいで下さいました。

若さあふれる皆さんをお迎えし、ここ、栃木の地において第16回全国中学校バドミントン大会が開催されますことは誠に喜ばしく、心から歓迎申し上げます。

皆さんは、日ごろより勉学にスポーツに若い情熱をかけ、精進を重ねてこられたからこそ各地の激しい予選を勝ち抜き、ここに栄えある全国大会への出場権を獲得することができたのだと思います。私は、皆さんの、そのひたむきな姿に深く感動するとともに本大会での活躍に大きな期待を寄せるものであります。どうぞ、鍛え抜いた技と力を十分発揮し、悔いのないプレーを展開するようがんばってください。

また、大会を通じて出会った多くの友と、友情の輪を広げ、中学生時代の美しい思い出とされるよう願って止みません。

選手の皆さんが栄冠をめざして中学生らしいさわやかな競技に徹し、一人一人が大きな成果を得られ、さらに限りなく前進されることを祈念し、あいさついたします。

## 歓迎のあいさつ



真岡市長 菊地 恒三郎

全国から参加されました選手団、役員の皆さん、ようこそ栃木県真岡市においで下さいました。心から歓迎申し上げます。

当市では6年前昭和55年、第35回国民体育大会が栃木県で開かれた際に、バドミントン競技の会場地となりまして、この総合体育館において、全国からの選手をお迎えして熱い試合が展開されました。

その意味からも当市とバドミントンとの結びつきは深く、この度の全国中学校選抜バドミントン大会の開催を心待ちにしていたところであります。

さて、選手団の皆さんには厳しい予戦に勝ち進まれ晴れて全国大会に出場してこられた訳でありまして、その栄誉を讃えますとともに本日から行われます競技に全力を投じられまして、悔いのない中学生時代の思い出に残る大会として下さるようご祈念申し上げます次第であります。

ここ栃木県は自然、歴史、産物、観光など豊かな環境に恵まれたところです。大会に熱い汗を流したあとは栃木県の風土も楽しんでいかれますよう、そしてまたいつの日かインタハイであるいは国体で再会できますことを期待いたしまして歓迎の挨拶いたします。

## 歓迎のあいさつ



栃木県教育委員会教育長 池 嶋 和 雄

全国各地から、若さあふれるたくましい選手の皆さんや、役員の方々を多数お迎えし、昭和61年度第16回全国中学校選抜バドミントン大会が本県において盛大に開催されますことは誠に喜ばしく、心から歓迎申し上げます。

選手の皆さんは、日ごろから苦しい試練に耐え、技を磨き、精進を重ねて全国大会出場の夢を果たされたわけでありますが、これまでのひたむきな努力に惜しめない拍手をおくるとともに、熱心に御指導に当たられた関係の先生方に対し、深く敬意を表するものであります。

本県では「県民一人1スポーツ」を目標に広くスポーツに対する意識や関心が高まってきており、県民が本大会の皆さんの活躍に寄せる期待も多大なものがあります。

どうか選手の皆さん、バドミントン競技の栄光をめざし、母校や郷土の期待に応えるよう、今日まで培ってきた技と力を十分発揮して、はつらつとした元気なプレーを展開し、21世紀を担う若い力を示してください。

皆さんの健闘を祈念します。

## 歓迎のあいさつ



真岡市教育長 小 林 茂

昭和61年度全国中学校選抜バドミントン大会開催にあたり、全国9ブロックより選抜された栄誉ある皆さん、ようこそ真岡市においでくださいました。若さにあふれ、心身ともに健康な皆さんをお迎えでき、この上もない喜びと感激でいっぱいです。

さて、中学時代は、人間形成の最も大切な時期と言われていました。

その中で、皆さんは自己の向上を目指し、「雨の日も風の日も」の言葉どおり、一日のゆるぎもなく、全身全霊を打ち込んで自己の鍛練に努めてこられました。そこには、不平も不満もなく、あるものは、忍耐と努力と、ひたすら自己の目標に向かってまっしぐらに精進する美しい姿であったはずです。もちろんその陰には、理解あるご両親のいつくしみ、熱心な先生のご指導があったからにはほかなりませんが……。

皆さんは、勉強とスポーツを両立させている模範的中学生でもあり、後輩の鏡でもあります。

本大会を中学時代の感動と歓喜で充実させ、模範的中学生の名に恥じぬよう、力いっぱいプレーし、悔いのない試合を展開されますよう心よりご期待申し上げます。



## 歓迎のあいさつ

財団法人栃木県体育協会

会長 渡辺 文雄

本日ここに、全国の中学校から地区大会を勝ち抜かれた精鋭の選手諸君の参加のもと、第16回全国中学校選抜バドミントン大会がこのように盛大に開催されますことを心からお祝い申し上げます。

本大会は、学校教育の一環として、中学生の健全育成とスポーツの振興を目途に開催されておりますが、年々充実盛会をさわめられる一方、多くの優秀な人材を送り出すなど日本スポーツ界の発展にも大きな役割を果たしてまいりました。

これもひとえに関係機関・各位の御尽力と、中学生諸君がスポーツにひたむきに取り組まれた成果のたまものと、あらためて敬意を表する次第であります。

大会に参加される選手諸君、スポーツは自分で目標を定めそれを達成することに大きな意義があります。どうか、競技に臨んでは日ごろの練習の成果を十分に発揮され悔いの無いよう、また、この機会に友情の和を広げられ若さあふれる大会としてください。

おわりに、本大会の開催にあたりご尽力いただきます関係各位に対し心から感謝を申し上げましてあいさついたします。



## あいさつ

財団法人日本バドミントン協会

会長 桜内 義雄

全国各地より激しい予選に勝ち、郷土と母校の名誉をになって集まった500余名の選手諸君を迎え、第16回全国中学校選抜バドミントン大会が第35回栃木国体の会場で盛大に開催されますことは、誠に意義深く欣快にたえません。

学校教育活動の一環として、スポーツは単に勝敗を競うものではなく、スポーツを通してたくましい心身を培い、協調・連帯性を養い、友情の輪を広げていくところに目的があります。青春時代の思い出として本大会が諸君の人生にとってかけがえのないものとなることを信じてやみません。

どうか選手諸君は、日頃錬磨の実力を発揮され最善を尽し、「コートの中に人生の教訓を拾う」ことにより、皆さんを育ててこられたご家族や先生方のご厚意にこたえてほしいと思います。

終りに、本大会開催にあたり、ご理解とご協力を賜りました関係各位に心からお礼申し上げます。

## 歓迎のあいさつ



栃木県バドミントン協会

会長 岩崎 純三

このたび、全国都道府県ならびに各ブロックのきびしい予選を勝ち抜き、将来の日本バドミントン界を背負って立つ若い精鋭をお迎えして、本大会を第35回栃木国体バドミントン競技の会場で開催できることは、誠に喜ばしいことでもあります。

成長著しい中学生諸君の心身の健全な発達と優れた知性・豊かな情操を育むために、スポーツが果たす役割は大変大きいものであります。

どうか競技にのぞみ、日頃鍛えた力と技を充分に発揮し、悔いのない試合を展開されることを望みます。

また、この大会を通して友情を深め、よい思い出をつくって下さい。

終りに、本大会開催にあたり、ご尽力賜りました関係者の皆様に深く感謝申し上げ、今後中学校バドミントン界の益々の発展を祈念し、併わせて本大会が成功のうちに終わりますよう、皆様のご協力を心からお願い申し上げます。

## 歓迎のことば



栃木県中学校体育連盟

会長 大房 信一

全国各都道府県並びに各ブロックの厳しい予選を勝ち抜き、本大会出場の栄を得られた精鋭を一同に会し、第16回全国中学校選抜バドミントン大会が躍進目覚しい工業団地真岡市で盛大に開催されますことを心からお喜びし歓迎申し上げます。

本大会に参加されました選手諸君は、日頃鍛えた「技」と「体力」を充分発揮し、母校の名誉と郷土の栄光のため、中学生らしく最後まで正々堂々と覇を競うよう諸君の健闘を期待しております。

激しい闘志の中にも、各都道府県、各学校間の友情を深め、スポーツ活動を通して、将来立派な社会人として生きていくため、規則を守り実践して、明るく健康な生活が送れるよう希望します。

日頃御指導をいただいております先生方に深甚なる敬意を表します。

終りに、この大会の開催にあたり、御尽力いただきました関係各位に対して、心から御礼と感謝を申しあげまして挨拶といたします。



# 大 会 役 員

名 誉 会 長	財 日本バドミントン協会会長	桜内 義雄
名 誉 副 会 長	栃 木 県 知 事 真 岡 市 長	渡辺 文雄 菊地恒三郎
会 長	全 国 中 学 校 体 育 連 盟 会 長	鈴木誠太郎
副 会 長	栃 木 県 中 学 校 体 育 連 盟 会 長 栃 木 県 バドミントン協会会長 栃 木 県 教 育 委 員 会 教 育 長 全 国 中 学 校 体 育 連 盟 副 会 長	大房 信一 岩崎 純三 池嶋 和雄 須田 尚之 毛利 元孝 協田 閑
	財 日本バドミントン協会副会長 財 日本バドミントン協会専務理事	柴田 昭一 宮川 素直 橋 良 服部 昭二 栗原 武仁 宇都宮定吉 柳川 覚治 真藤 恒 小飼 栄一
顧 問	文 部 省 初 等 中 等 教 育 局 長 文 部 省 体 育 局 長 全 日 本 中 学 校 長 会 副 会 長 都 道 府 県 教 育 長 協 議 会 幹 事 長 全 国 市 町 村 教 育 委 員 会 連 合 会 会 長 財 日 本 バドミントン協会顧問 財 日 本 バド協会加盟団体長	西崎 清久 加戸 守行 林 信次 堀江 四郎 加藤 三郎 細田 金治 坂本 邦夫 羽田 稔 辺見 英男 米田 精仁 水上 忠 加藤 愛雄 石渡 俊一 奥田 敬和 北口 博 柴田 勝治 地崎宇三郎 内藤 健 永末 英一 西村 尚治 林 義郎 松下 正寿 山崎武三郎 渡辺 秀央 清藤 六郎 佐々木洋平 森 康 鈴木 辰雄 板垣 隆房 布引 修二 阿久津順一 日野 貞夫 大須田良作 須田 勝勇 玉手 庸 曾山 皓 原 二三雄 吉川 芳男 中村 伝 清水規矩雄 宮下 明 大永 武二 西澤鉄太郎 後藤 淳 野呂 昭彦 神谷 一三 栗木藤四郎 今井 鎮雄 藤田 庸右 坂口 常博 今村 時男 石田 祥史 天野 辰雄 池上 任 俊成 薫 結城 健輔 四島 可 小原 嘉文 鈴木 正武 脇屋 長可 相沢 尚夫 稲福 盛輝 真藤 恒 遠井 稔男 成相 安信 推津 弘之 板橋 一好 南里 栄子 上杉 強 小菅 仁三 小林 茂
参 与	文 部 省 体 育 局 体 育 課 長 文 部 省 体 育 局 スポーツ課長 文 部 省 初 等 中 等 局 中 学 校 教 育 課 長 栃 木 県 教 育 委 員 会 義 務 教 育 課 長	岡 行輔 戸村 敏雄 林田 英樹 阿部 豊

参	与	栃木県教育委員会社会教育課長 真岡市教育委員会教育次長 栃木県中学校校長会会長 真岡市小中学校校長会会長 栃木県バドミントン協会副会長 真岡市体育協会会長 栃木県中学校体育連盟顧問  栃木県中体連バドミントン部前部長 栃木県中学校体育連盟理事 読売新聞社社長	坪江 清行 菅谷 好弘 飯野 昭 寺門 和之 別井 保男 金敷 芳雄 小寺三五七 増渕 重雄 川島 作造 嶋田 和信 小林与三	松本 弘充 大兼 和夫 保坂 俊一  五月女兵吾 井上 勇雄 草島 尚介 増渕 増雄	鈴木 信
大会委員長 大会副委員長	全国中学校体育連盟理事長 全国中学校体育連盟副理事長 勅 日本バド協会中体連担当理事 栃木県中学校体育連盟副会長 栃木県教育委員会保健体育課長 真岡市教育委員会教務課長	大橋 俊郎 浜口 義春 池田 昌道 野澤 栄 徳田 有基 鷺谷 誠	大貫隆一郎 小池 文司 河田 嘉一	河田 嘉一	
委 員	全国中学校体育連盟副理事長 全国中学校体育連盟常任理事 全国中体連ブロック代表理事  勅 日本バドミントン協会理事  勅 日本バドミントン協会監事 栃木県バドミントン協会副理事長 栃木県バドミントン協会常務理事  栃木県バドミントン協会監査 栃木県教育委員会保体課課長補佐 栃木県教委保体課課長補佐兼係長 真岡市教育委員会社会体育課長 全国中体連バドミントン部長 全国中体連バドミントン部員	横地 剛 加藤 正喜 後藤 敏夫 小山 賢司 小越 広忠 浅井 益夫 鳥越 猛 相場 清一 神沢 暁 富田 善明 本郷 節生 上原 正士 近藤 満 別井 晃 塚原 紀子 池山 栄 花塚 功先 岡本 彪 菊地 三郎 加藤 勝 西村 幸衛 出口 健次 黒木 昊 川瀬 武雄 綿引 清 村山 幸雄 渡辺 栄一 佐伯 一之 久野 信弘	松本 国夫 熊谷 康 高倉 知義 川上 賢爾 吉田 茂章 森口 章 安部 淳美 里見 光徳 内藤 安雄 増田 稔 加藤 三夫 斎藤 信 荒井美恵子 武井 祥子	大迫 末司 清水 善之 大房 信一 藤本 睦雄 福井 良直 石井 格一 伊藤 鑛一 清水 善一 長浦 音吉 福岡 幸一 森田 昇 岡村 恵吾	小池 政嘉 田中 益哉 佐藤 晃 福井 直良 福尾 博志 真鍋 涛夫 今北 基夫 鈴木 龍平 野村 嘉明
総 務	全国中学校体育連盟事務局長 全国中学校体育連盟事務局次長 関東中学校体育連盟事務局長 勅 日本バドミントン協会事務局長 栃木県中学校体育連盟理事長 実行委員会事務局長 実行委員会事務局次長	黒木 昊 川瀬 武雄 綿引 清 村山 幸雄 渡辺 栄一 佐伯 一之 久野 信弘	志村 正義 尾上 忠 渡辺 博 田中 勉 矢野 純子 鈴木 正一 武本 崇	渡部 建夫	

# 競 技 役 員

競 技 役 員 長	小 池 文 司			
総 務 委 員 長	佐 伯 一 之			
総 務 副 委 員 長	菊 地 三 郎	加 藤 勝		
総 務 委 員	久 野 信 弘	新 井 毅	上 田 精 一	大 塚 哲 雄
	西 村 幸 衛	志 村 正 義	田 中 勉	鈴 木 正 一
	出 口 健 次	尾 上 忠	矢 野 純 子	武 本 崇
	飯 塚 淳	神 長 信 夫	渡 辺 渡	阿 部 浩
広 報 報 道 係	坂 本 亨 子	尾 島 啓 子		
放 送 係	坂 本 洋 子	金 子 典 子	高 橋 フ ミ 子	大 島 喜 代 子
受 付 係	真 岡 中 P T A			
	松 本 久 子	佐 藤 啓 子		
救 護 係	武 井 祥 子	綱 川 玲 子	扇 延 子	真 岡 中 P T A
接 待 係	石 塚 光 晴	橋 本 由 美 子	国 井 和 子	桜 井 幸 雄
会 場 係	堀 田 玲 子	宇 賀 神 澄 夫	福 田 耕 夫	真 岡 中 P T A
	永 井 佐 賀 恵	五 月 女 正 光	猪 瀬 藤 衛	坂 本 高 之
宿 泊 交 通	斎 藤 亘			
	田 中 光 重	臼 井 康 子		
庶 務 係	高 橋 正 義	久 保 正	石 井 佳 子	川 又 和 子
式 典 係	古 口 節 子	古 谷 京 子	吉 村 三 津 子	川 上 由 美 子
	篠 原 隆	内 藤 雅 伸	( 補 助 生 徒 )	
召 集 係	遠 井 稔 男			
競 技 委 員 長	塚 原 紀 子	別 井 晃		
競 技 副 委 員 長	大 堀 円			
競 技 委 員 係	高 橋 正 義	石 井 佳 子	川 又 和 子	古 口 節 子
進 行 係	古 谷 京 子	吉 村 三 津 子	大 野 久 明	
	山 崎 秀 男	長 文 男	小 川 浩	松 井 智 之
記 録 係	吉 川 政 治	橋 本 静 江	森 英 治	
	篠 崎 達 剛	伊 藤 純 敬	小 松 原 唯 弘	( 補 助 生 徒 )
シ ャ ト ル 係	遠 藤 幸 夫			
審 判 長	斎 藤 侖	森 田 昇		
副 審 判 長	館 野 政 雄	荒 井 美 恵 子	新 川 稔	須 藤 弘
コ ー ト 係	( 補 助 生 徒 )			
主 審	大 島 正 志	平 間 真 由 美	上 野 律 子	伊 東 清 和
( 教 員 )	小 川 民 生	藤 野 匡 史		
( 一 般 )	大 八 木 正	入 江 久 夫	武 井 正 代	光 田 和 恵
	笠 井 孝 之	青 柳 哲 夫	山 崎 秀 之	湯 沢 雄 一
( 学 生 )	大 高 正 江	田 上 悟	須 藤 千 代 子	
	関 田 律 子	渡 辺 一 恵	大 森 誠 一 郎	本 間 裕 美
	三 沢 真 奈 美	金 子 浩	南 川 史 子	南 雲 好 枝
	久 木 文 子	関 富 子	木 住 野 か お る	岩 崎 由 起 子
( 家 庭 婦 人 )	安 藤 由 美 子	三 富 久 子	福 田 し づ か	

## 競 技 役 員

線 審

真岡女子高	高木佐代子 船崎弘美 塩野谷久江	庭野裕美 石崎真美 高崎朱美	西野奈美子 天川恵美子 市村真紀	小出博美 小出まゆみ 山内由理江
真岡工業高	佐藤友弘 飯山好夫 小貫正義 木下健司 木村倫一	森敏治 光田昌明 小川義貴 阿部宏二 松山淳也	半田洋之 入江伸夫 小関幸満 法師人勝男 中川健一	須田一則 今西弘征 佐藤直樹 高島功
真岡農業高	仙波則之 岩松友美	高野真紀 上野圭子	田村由里子	増渕明美
益子高	石塚裕二 三嶋智成 大塚道男 高橋力裕 仁平裕	上野修 上野讓二 釜野井慎一 細谷敬司	鍛冶浦孝 得能優樹 豊田裕志 川上新一	前田邦典 栗原範行 柳正好 小口立
芳賀高	高橋広美 平石真理子	仁平久美子 赤羽由紀子	福田清美 中野恵子	大根田由美子
小山城南	田崎博子	神尾嘉奈子	田中明子	上野裕子

## 補 助 生 徒

小山城南高	バドミントン部生徒
作新学院高	//
真岡中	//
真岡東中	//
中村中	//
山前中	//
大内中	//

# 昭和61年度 第16回 全国中学校選抜バドミントン大会要項

1. 目的 この大会は、中学校教育の一環として、中学校生徒に広くバドミントン実践の機会を与え、技能の向上とアマチュアスポーツ精神の高揚を図り、心身ともに健康な中学校生徒を育成するとともに、中学校生徒の相互の親睦を図るものである。
2. 主催 全国中学校体育連盟、財団法人日本バドミントン協会、栃木県教育委員会、真岡市教育委員会
3. 後援 文部省、全日本中学校長会、都道府県教育長協議会、栃木県、全国市町村教育委員会連合会、財団法人栃木県体育協会、真岡市、真岡市体育協会、読売新聞社
4. 主管 栃木県中学校体育連盟、栃木県バドミントン協会
5. 会期 8月22日(金) 開会式 9:00 団体戦  
8月23日(土) 団体戦(準決勝・決勝) 団体戦表彰式 個人戦  
8月24日(日) 個人戦(準々決勝～決勝) 個人戦表彰式 閉会式
6. 会場 真岡市総合体育館(〒321-43 真岡市田町1251-1 TEL 02858-4-2811)
7. 種目 男女とも学校対抗団体戦及び個人戦
8. 参加資格 (1) 各都道府県中学校に在学する生徒であること。  
(2) 全国9ブロックの競技要項により全国大会参加資格を得て、所属学校長及び各都道府県中体連会長が認めた者とする。
9. 引率監督 参加生徒の引率・監督は出場校の教員であること。
10. 参加数 団体戦・個人戦9ブロック(男女とも同数とする)。

	北海道	東北	関東	北信越	東海	近畿	中国	四国	九州	開催地
団体戦	1	2	4	2	1	3	1	1	2	1
個人戦	2	3	4	2	2	3	2	2	3	1

- 団体編成 (1) 団体戦チームは、監督1名、選手5～7名(同一校編成)とする。  
(2) 事故などによる選手の変更は、監督会議開始前に大会事務局に申し出て、監督会議の了承を得なければならない。

個人戦 単・複(同一校編成)を行い、参加数は上記の通りとする。

11. 競技規則 (1) 昭和61年度日本バドミントン協会競技規則並びに大会運営規定による。  
(2) 使用シャトル及びネットは、昭和61年度日本バドミントン協会検定合格合成シャトル及びネットとする。

カールトン・トーナメントST、ヨネックス・メイビス500

ゴーセン・NS103、ヤマハ・NS103、カワサキ・スタミナ

12. 競技方法 (1) トーナメント方式により優勝を決定する。(三位決定戦は行わない)  
(2) 団体戦は、複2・単1の対抗戦とし、複・単・複の順に行う。  
(同一選手が、単と複、及び複と複を兼ねて出場することはできない)  
(3) 個人戦は、単・複を兼ねて出場することはできない。

13. 表彰 (1) 上位三位まで、全国中学校体育連盟、及び、日本バドミントン協会から賞状を授与する。  
(2) 団体及び個人の優勝者には、優勝杯及びトロフィーを授与し、入賞者(優勝～三位)には、メダルを授与する。

14. 参加申込

所定用の紙で下記宛に書留にて郵送すること。

申込締切日 昭和61年8月12日(火) 必着

申込場所 昭和61年度第16回全国中学校選抜バドミントン大会実行委員会

〒328 栃木市片柳町2-15-40

栃木市立栃木西中学校内(TEL 0282-22-5711)

15. 組合せ

大会実行委員会に一任する。

16. 監督会議

全国中体連競技部会

(1) 競技部会 昭和61年8月21日(木) 14:00~

(2) 監督会議 昭和61年8月21日(木) 16:30~

会場 真岡市青年婦人会館

(〒321-43 真岡市田町1344 TEL 02858-2-7153)

17. 宿泊

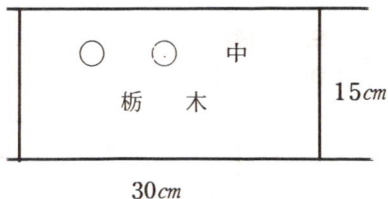
別紙宿泊要項により、実行委員会が斡旋するので、8月12日(火)までに申し込むこと。

18. その他

(1) 競技時の服装は、上衣・下衣とも「白単一色」を原則とし、日本バドミントン協会の推薦したものを限度とする。

(2) 下衣は、男子は長ズボン又は半パンツ、女子はスカート又は半パンツ、ワンピースを着用すること。なお、ソックスは白色とする。防寒又は整髪のため白い運動帽子又ははちまきをよしとするが、体裁よく結ばなければならない。

(3) 上衣の背面中央部には、必ず校名のマークをつけること。マークの大きさは、縦15cm、横30cm、文字は黒又は濃紺とし、校名及び都道府県名を日本文字(かい書)で明記する。なお、上衣背面に直接プリント等を刷る場合には、地模様・ライン等に重なってはならない。



(4) 練習会場は後日連絡する。

(5) 大会中の不慮の負傷、疾病については応急処置は施すが、それ以外の責任は負わない。

(6) 監督に代わり、マネージャーがベンチに入ることができる。但しマネージャーは出場校の教員又は生徒であること。

19. 連絡先

8月20日(水)以前及び25日(月)以後

昭和61年度第16回全国中学校選抜バドミントン大会実行委員会

栃木県栃木市立栃木西中学校 佐伯 一之

〒328 栃木県栃木市片柳町2-15-40 (TEL 0282-22-5711)

夜間連絡先 (TEL 0285-23-6276)

8月21日(木)より24日(日)まで

真岡市総合体育館

〒321-43 栃木県真岡市田町1251-1 (TEL 02858-4-2811)

※ 大会期間中、本部用として、「特設電話」を設置する。

(本部の特設電話番号は 02858-4-2972

FAX 02858-4-2973

## 競技上の注意

### ◎一般的事項・会場使用上の事項

1. 競技場の運動靴は、競技用と屋外用をはっきり区別して下さい。
2. 試合のため会場へ到着したら「受付」をすませてから入場して下さい。
3. フロアの上では、飲食は厳禁になっております。
4. 応援は“声援”でなく“拍手”で行って下さい。
5. 貴重品は、かならず各自で十分管理してください。
6. その他は監督会議で連絡します。

### ◎競技上の事項

7. この大会は、現行日本バドミントン協会競技規則、及び大会運営規定によって実施します。
8. 団体戦に参加のチームは、30分前までにオーダー用紙を進行係に提出してください。30分前までに、（または、指示のあった時刻までに）、オーダー用紙の提出がなかった時、または集合の締切り時刻（競技開始時刻10分前）に集合しなかった時は、棄権とみなします。
9. 競技開始時刻10分前には、集合場所のプラカードのところに集合、主審、線審、監督、選手（エントリーされた者）の順に整列し、両チーム（選手）が集合完了したら入場します。
10. 試合の進行状況に応じて、2コートで並列して試合を行う場合や、コートや競技開始時刻を変更することがありますので、場内放送に十分注意してください。
11. ベンチに入ることでできるのは、監督と選手（エントリーされた者）だけです。
12. 初回戦のみ、全試合を行います。勝敗決定後は、相手監督の了解を得た場合、メンバーの変更をすることができます。以後は2点先取後打ち切ります。
13. 主審が認めた以外、タイムはいっさい認めません。
14. ファイナルゲームの場合は5分間の休憩をとります。
15. シャトルは、審判が5種類（要項記載）のシャトルを準備し、各試合ごとにトス（ジャンケン）で決めます。
16. あいさつ後、3分ずつの練習時間を与え、複、単、複の順で試合をします。（団体戦のとき）
17. サーバー確認のため、ダブルスのファーストサーバーとファーストレジャーは、リボンをつけてください。
18. 個人戦で、同一校が同時に2コートにまたがる試合の時、ベンチに入る者は、監督又はマネージャーとします。

### ◎審判上の事項

19. 審判団は、厳正公平にその任にあたります。
20. 抗議は、いっさい認めません。それとおぼしき言動はつつしんでください。不審な時は、礼儀正しく当該プレーヤーが監督が主審に質問してください。もし判定に服さない時は、その試合を放棄したものとみなします。
21. つぎのような行為は禁止されています。
  - ① 試合中、みだりにコートをはなれること。（コート外での汗ふきなど）
  - ② サービスを故意におくらすこと、極端におそいレジャーの構え。
  - ③ 相手を威圧するような行為。

## 開 会 式 次 第

1. 開式通告
2. 選手入場
3. 開会宣言 大会委員長
5. 全国中体連、日本バドミントン協会旗等掲揚
6. 優勝杯返還及びレプリカ贈呈  

男子団体	熊本県	岱明中	
女子団体	熊本県	京陵中	
男子 単	熊本県	岱明中	高村誠也
男子 複	青森県	弘前一中	加藤 / 今組
女子 単	熊本県	西原中	宮村愛子
女子 複	熊本県	菊地南中	中原 / 甲斐組
7. あいさつ  

全国中学校体育連盟会長
財団法人日本バドミントン協会会長
栃木県教育委員会教育長
真岡市長、生徒代表
8. 歓迎のことば
9. 競技上の注意 競技委員長
10. 審判上の注意 審判長
11. 選手宣誓 選手代表
12. 閉式通告
13. 選手・役員退場

## 閉 会 式 次 第

1. 開式通告
2. 選手入場
3. 成績発表 競技委員長
4. 表 彰
5. 講 評 審判長
6. あいさつ
7. 国旗降納
8. 全国中体連旗・日本バドミントン協会旗等降納
9. 閉会宣言 大会委員長
10. 閉式通告
11. 選手退場



## 大 会 日 程

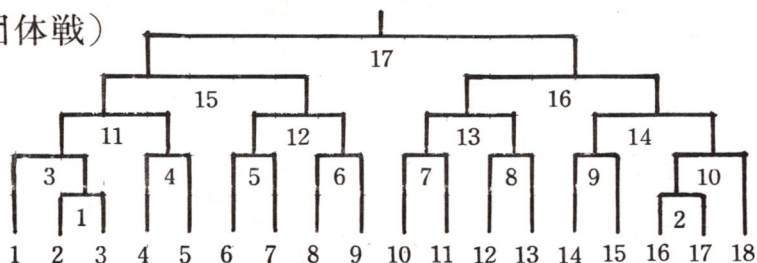
月 日	項 目	時 間	会 場
8月21日(木)	練習場開設 競技部会(ブロック代表会) 監督会議	13:00~17:00 14:00~16:00 16:30~17:30	真岡中ほか 真岡市青年婦人会館 //
8月22日(金)	練習場開設 開会式(入場行進を含む) 試合(団体戦)	10:00~17:00 8:50~9:40 10:00~17:00	真岡中ほか 真岡市総合体育館 //
8月23日(土)	練習場開設 会場練習(団体戦準決勝出場校) 試合(団体戦) 表彰式 試合(個人戦)	10:00~15:00 8:00~8:30 8:40~12:20 12:30~12:50 13:00~17:00	真岡中ほか 真岡市総合体育館 // // //
8月24日(日)	会場練習 試合(個人戦準々決勝より) 閉会式	8:00~8:50 9:00~12:00 12:10~12:40	真岡市総合体育館 // //

練習会場及びブロック割当て

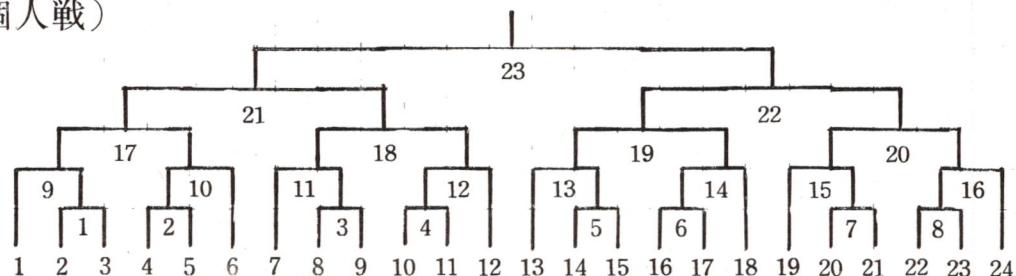
- (1) 真岡中学校体育館(4面)  
    関東代表、開催地代表
- (2) 真岡東中学校体育館(6面)  
    北海道、東北、北信越、東海代表
- (3) 真岡女子高等学校体育館(8面)  
    近畿、中国、四国、九州代表

# タイム・テーブルと会場練習

(団体戦)



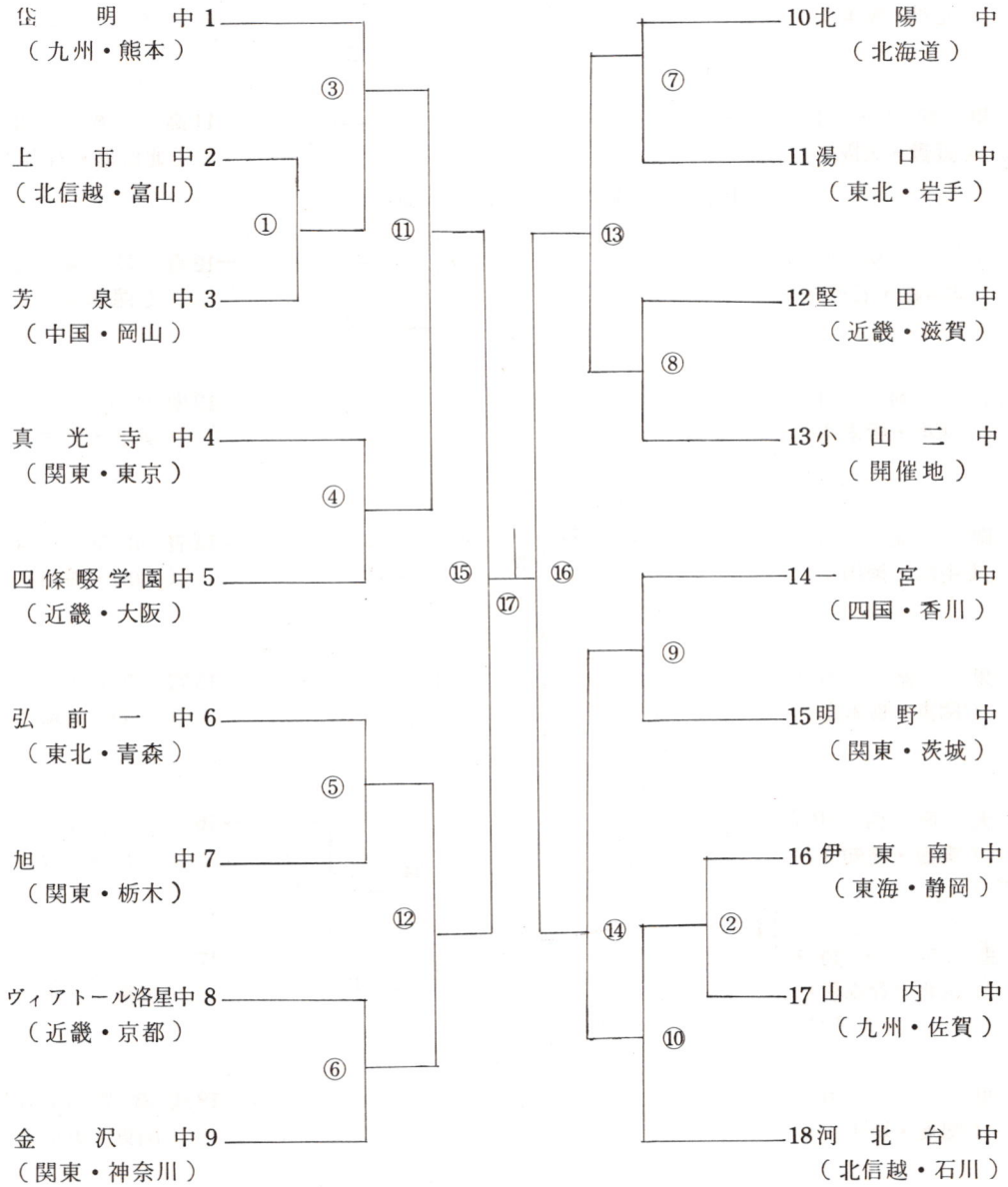
(個人戦)



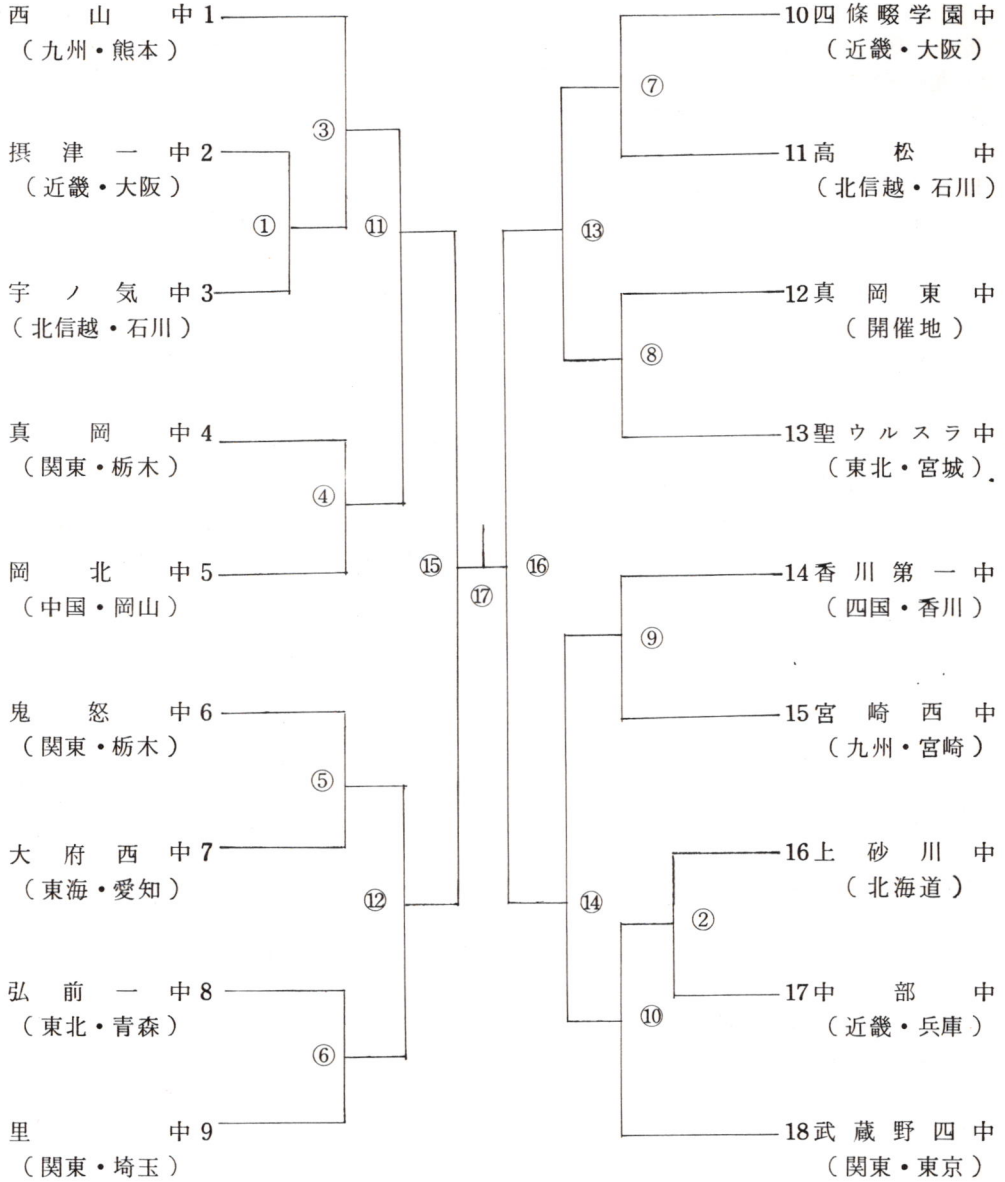
日 程	時間	コート	1	2	3	4	5	6	7	8
22 (金)	開 会 式	8:50~9:40								
	試 合 (団体戦)	10:00~11:40		BT 1		BT 2	GT 1		GT 2	GT 7
		11:40~13:20	BT 4	BT 5	BT 6	BT 7	GT 4	GT 5	GT 6	GT 10
		13:20~15:00	BT 3	BT 8	BT 9	BT 10	GT 3	GT 8	GT 9	GT 14
	15:20~17:00	BT 11	BT 12	BT 13	BT 14	GT 11	GT 12	GT 13	GT 16	
23 (土)	会 場 練 習	8:00~8:30	BT 15	BT 15	BT 16	BT 16	GT 15	GT 15	GT 16	
	試 合 (団体数)	8:40~10:20		BT 15		BT 16	GT 15		GT 16	
		10:40~12:20			BT 17			GT 17		
	表 彰 式	12:30~12:50								
23 (土)	試 合 (個人数)	13:00~13:30	BS 1	BS 2	BD 1	BD 2	GS 1	GS 2	GD 1	GD 2
		13:30~14:00	BS 3	BS 4	BD 3	BD 4	GS 3	GS 4	GD 3	GD 4
		14:00~14:30	BS 5	BS 6	BD 5	BD 6	GS 5	GS 6	GD 5	GD 6
		14:30~15:00	BS 7	BS 8	BD 7	BD 8	GS 7	GS 8	GD 7	GD 8
		15:00~15:30	BS 9	BS 10	BD 9	BD 10	GS 9	GS 10	GD 9	GD 10
		15:30~16:30	BS 11	BS 12	BD 11	BD 12	GS 11	GS 12	GD 11	GD 12
		16:00~16:30	BS 13	BS 14	BD 13	BD 14	GS 13	GS 14	GD 13	GD 14
16:30~17:00	BS 15	BS 16	BD 15	BD 16	GS 15	GS 16	GD 15	GD 16		
24 (日)	会 場 練 習	8:00~8:25	BS 17	BS 18	BD 17	BD 18	GS 17	GS 18	GD 17	GD 18
		8:25~8:50	BS 19	BS 20	BD 19	BD 20	GS 19	GS 20	GD 19	GD 20
	試 合 (個人数)	9:00~9:30	BS 17	BS 18	BD 17	BD 18	GS 17	GS 18	GD 17	GD 18
		9:30~10:00	BS 19	BS 20	BD 19	BD 20	GS 19	GS 20	GD 19	GD 20
		10:20~11:00	BS 21	BS 22	BD 21	BD 22	GS 21	GS 22	GD 21	GD 22
閉 会 式	12:10~12:40									

※ 上記表中 BT…男子団体 GT…女子団体 BS…男子 単 GS…女子 単 BD…男子 複 GD…女子 複 を示す。番号は、試合番号をしめす。

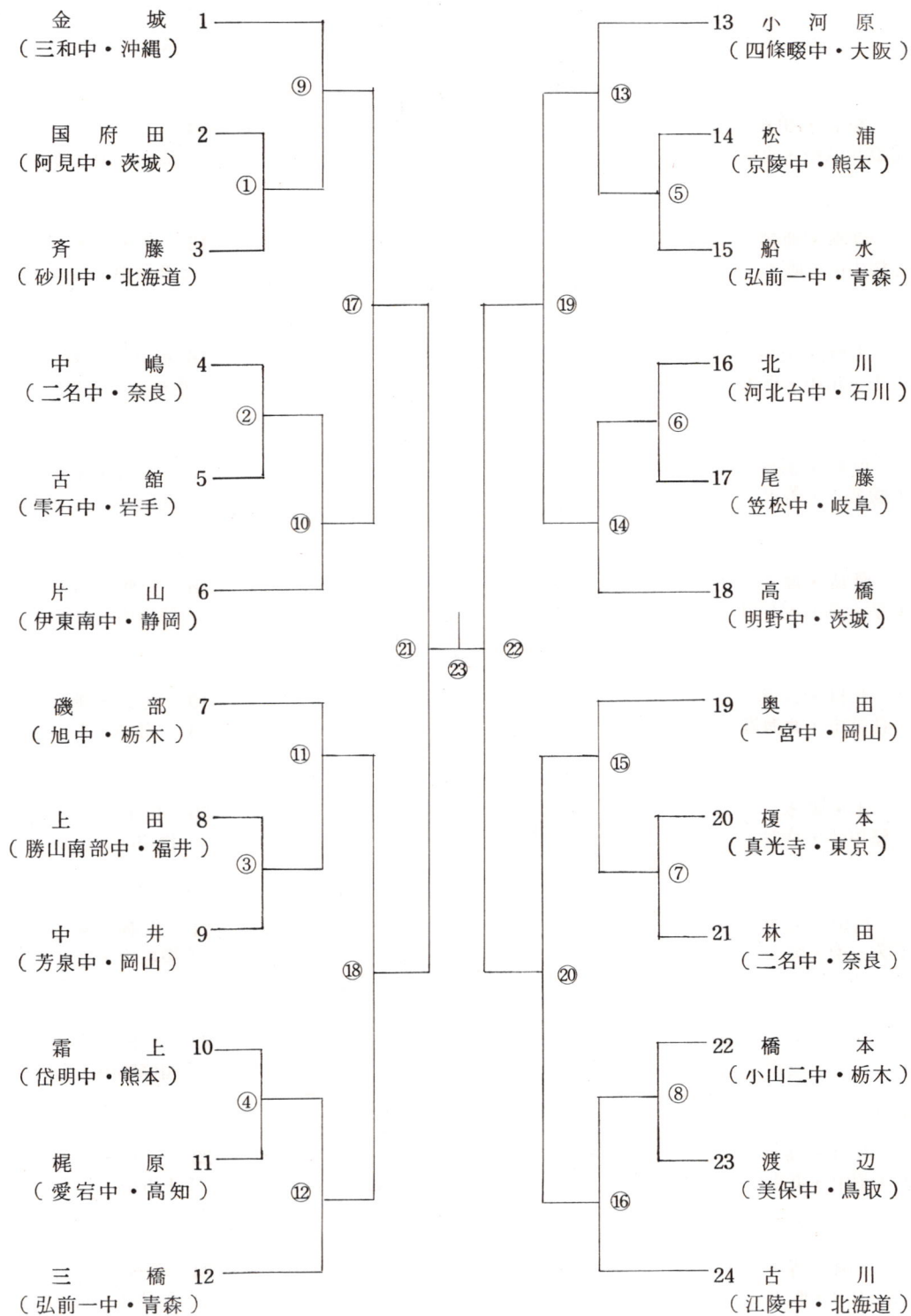
# 男子団体 (B.T)



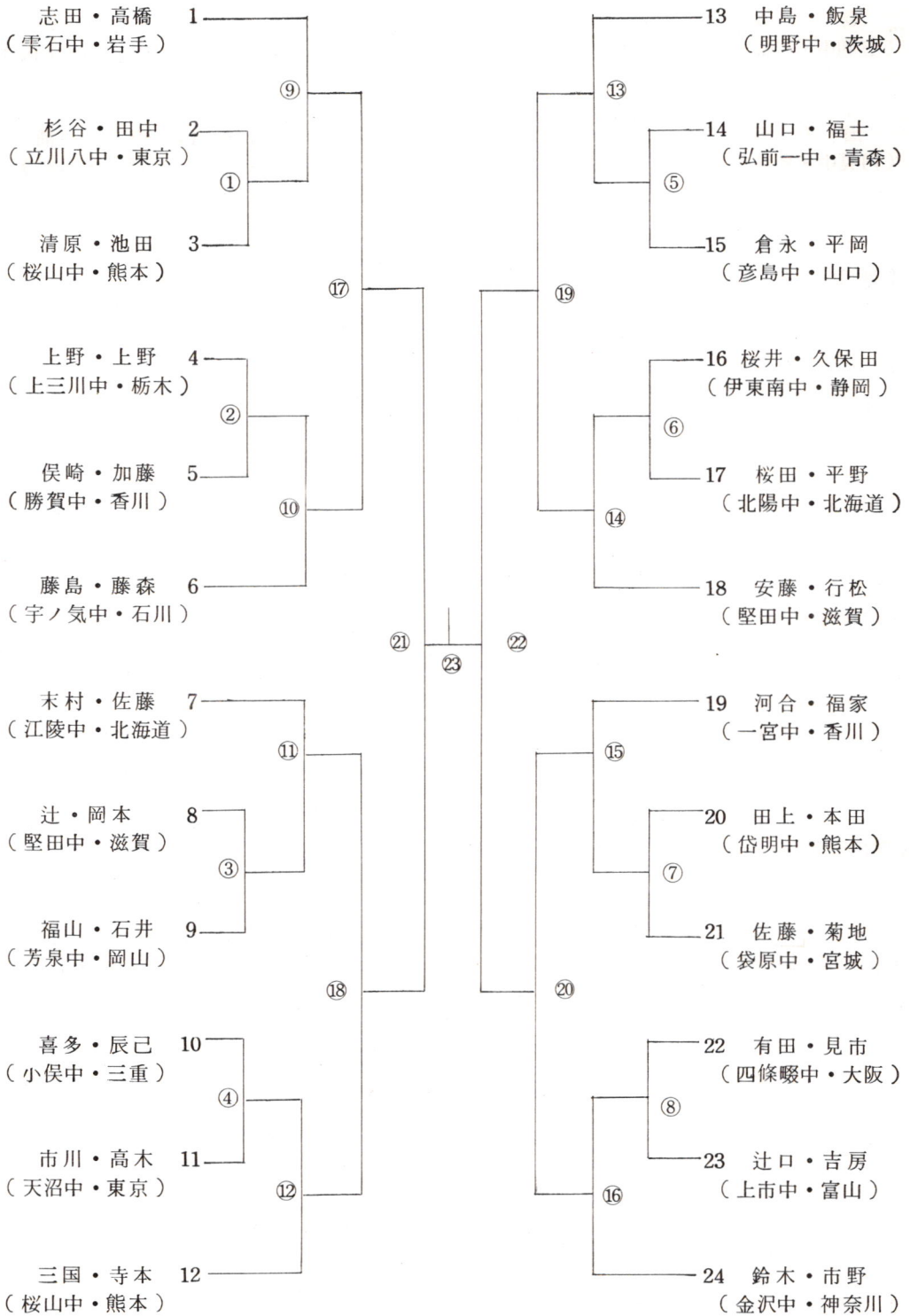
# 女子 団 体 (G.T)



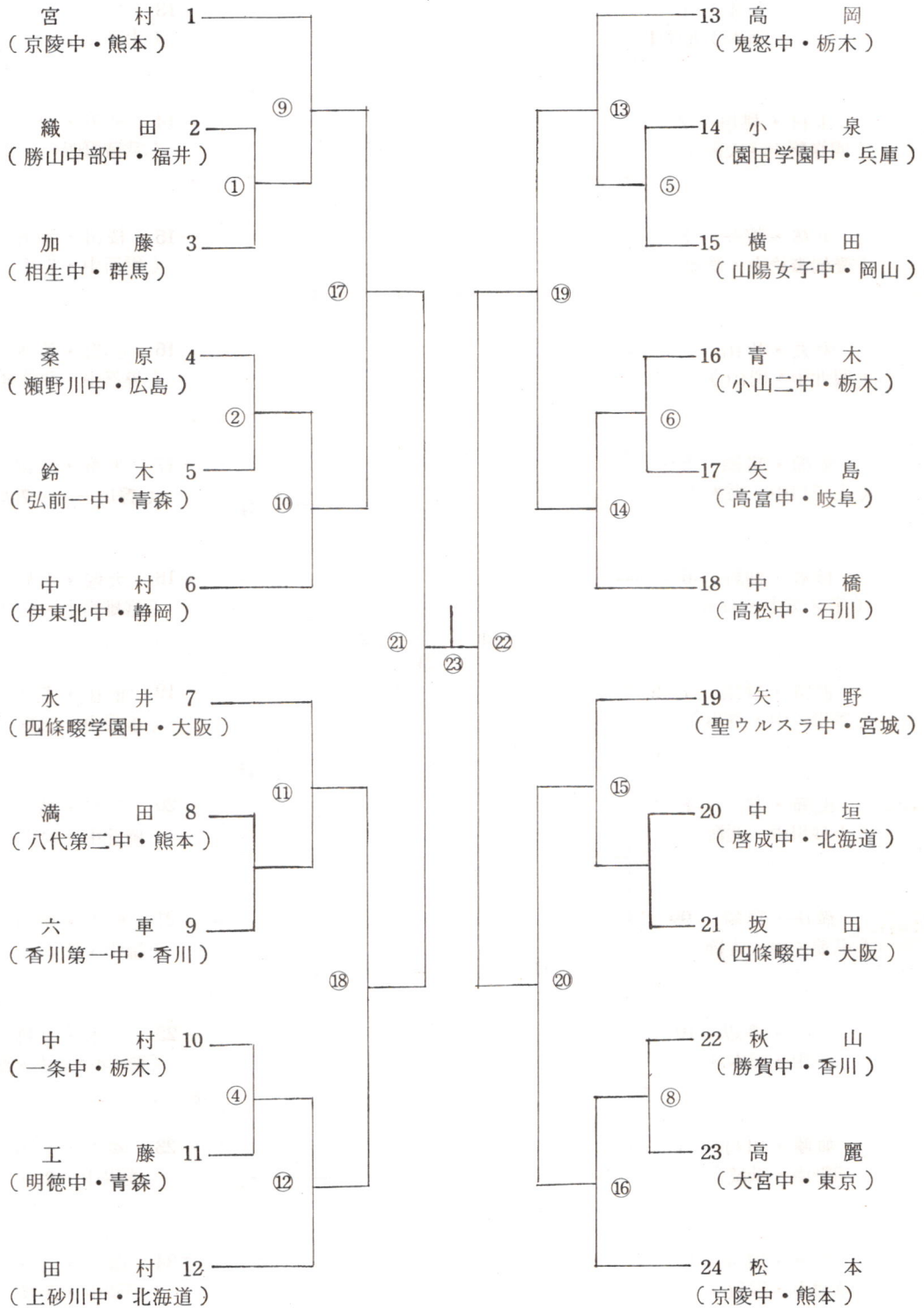
# 男子 単 (B・S)



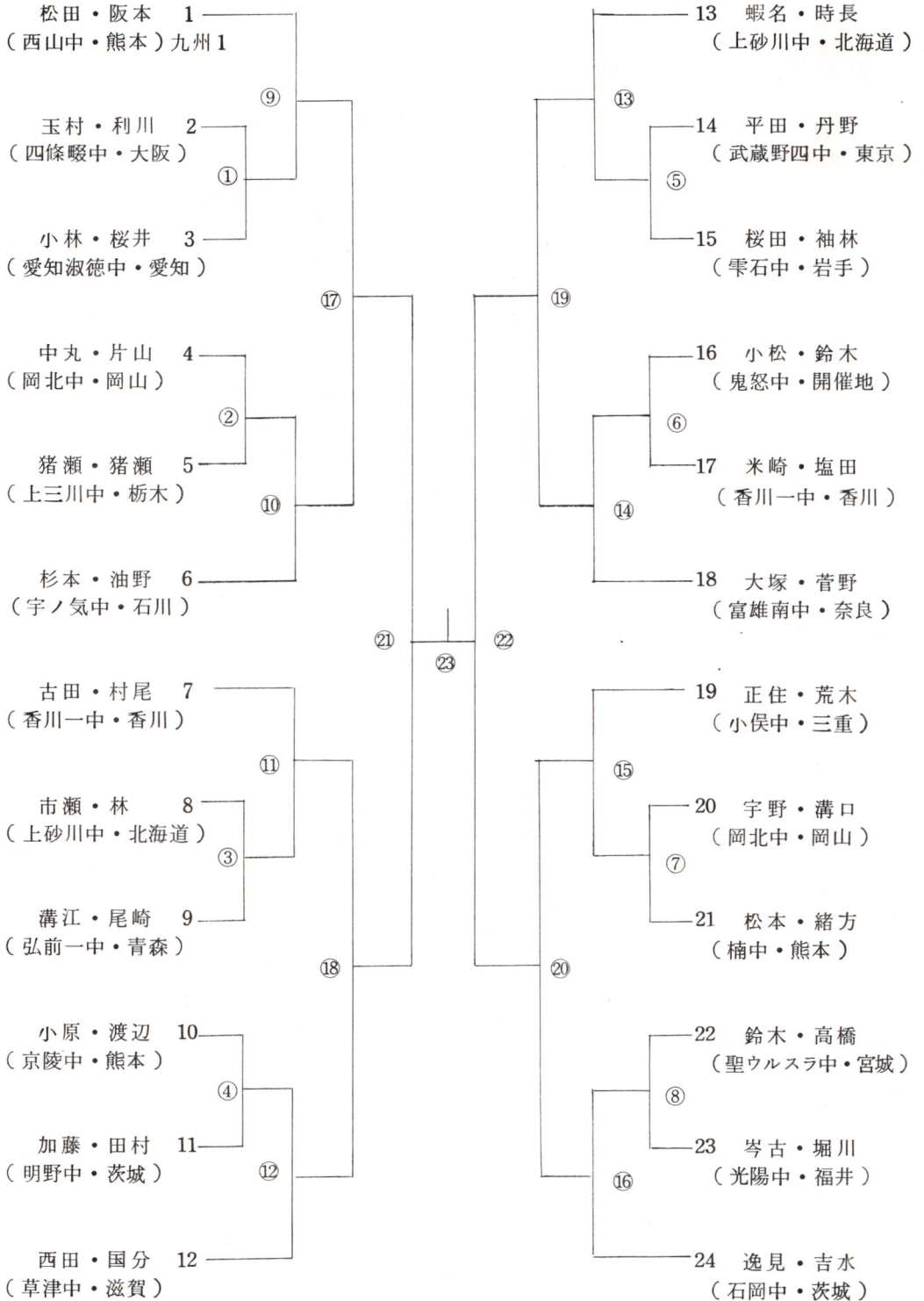
男子 複(B・D)



女子単(G・S)



女子複 ( G · D )





# 出場選手名簿

(男子団体)

ブロック名	都道府県名	学 校 名 監督名・マネージャー名	選 手 名				○印 主将
北海道	北海道	札幌市立北陽中学校 佐藤 則之・新保 直人	○桜田 孝志(3) 西川 潤(2)	平野 朝也(3) 内貴 努(3)	郷路 一郎(3) 大森 雅光(2)	山内 康敬(3)	
		弘前市立第一中学校 山内 時治・対馬 佳孝	○三橋 健一(3) 小山 和幸(2)	山口 英治(2) 小野 満(2)	船永 武司(2) 沢田 崇文(1)	福士 誠(2)	
東 北	岩手	花巻市立湯口中学校 及川 礼子・本館 恵三	○佐藤 健(3) 久保田宏章(2)	佐藤 慎也(3) 畠山 和也(2)	佐々木一博(3) 小野寺 亘(3)	大川 義智(3)	
		横浜市立金沢中学校 後藤 秀晴・藤井 康友	○橋本 剛(3) 根本 貴弘(3)	鈴木 昭夫(3) 松田 幸夫(3)	市野 透(3) 高森 敦(3)	窪田 暁(3)	
関 東	茨城	明野町立明野中学校 神立 喜文・西村 聡史	○高橋 裕文(3) 中島 祐二(3)	木村 進(3) 柴 悦美(2)	古宇田将人(3) 山口 隆宏(2)	飯泉 哲也(3)	
		町田市立真光寺中学校 加藤 久典・葭野 真也	○井上 紀生(3) 中居 哲也(2)	飯田洋一郎(3) 富士 雅司(2)	小沢孝太朗(3) 小野寺良平(2)	榎本 堅一(3)	
	栃木	宇都宮市立旭中学校 黒川 雄才・石塚 宣利	○磯部 和弘(3) 大屋 裕介(2)	山口 昌彦(2) 山崎 敦史(2)	斎藤 一裕(2) 五十嵐義幸(2)	我妻 裕二(2)	
		北信越	石川	七塚町立河北中学校 森川 徹・池上 公之	○花 芳秀(3) 坂野 靖(3)	北井 淳(3) 綾瀬 寛隆(3)	紺谷 幸一(3) 中村 勲(3)
東 海	静岡	伊東市立伊東南中学校 齊藤 俊仁・山本 裕子	○桜井 三好(3) 吉沢 健一(3)	片山 卓哉(3) 小野 雄一(3)	久保田雄三(3) 原 伸二(3)	平野 嘉康(3)	
		近 畿	大阪	四條 畷学 園 中学校 仲尾 信一・杉田 忠邦	○小河原 崇(3) 上村 尚仁(2)	有田 圭一(3) 西川浩二郎(1)	見市 武史(3) 増田 哲也(1)
中 国	岡山	岡山市立芳泉中学校 柳本 堯敏・杉原 弘子	○中井 康博(3) 浅野 聡也(3)	石本 一宣(3) 石井 繁之(3)	鈴木 努(3) 福山 琢也(3)	竹中僚有生(3)	
		滋賀	大津市立堅田中学校 徳谷 正・坂上 豊史	○服部 淳也(3) 行松 俊樹(3)	辻 清和(3) 田中 宏樹(3)	岡本 広則(3) 福田 賢(3)	安藤 仁(3)
四 国	香川	高松市立一宮中学校 笹村 恵子・長町ふみ子	○鴨居 大吾(3) 福家 正登(3)	河合 雄太(3) 元山 隆行(3)	奥田 貴士(3) 川田 憲和(3)	高橋慎太郎(3)	
		九 州	熊本	岱明町立岱明中学校 中村 浩史・石原 正夫	○田上 厚志(3) 前田 尚央(2)	霜上 和宏(3) 倉崎 秀樹(2)	霜上 浩規(3) 池端 和政(2)
開催地	栃木	山内町立山内中学校 吉田 俊明・	○一瀬 俊史(3) 永田 雅弘(3)	山下 勝(3) 牟田 博司(2)	重松 弘人(3) 中尾 正邦(2)	樋渡 達也(3)	
		小山市立小山第二中学校 山崎 秀男・白井 康子	○山野井高生(3) 荻原 利幸(3)	橋本 浩宣(3) 保坂 暢之(3)	飯島 三雄(3) 町田 雅夫(3)	橋本 弾(3)	

# 出場選手名簿

(女子団体)

ブロック名	都道府県名	学校名 監督名・マネージャー名	選手名	○印 主将		
北海道	北海道	上砂川町立上砂川中学校 袴田 鉄美・玉置 千春	○田村 亜紀(3) 林 夕起子(2)	蝦名 美輪(3) 大久保美枝(3)	時長 真樹(3) 土屋留美子(2)	市瀬 陽世(3)
		聖ウルスラ学院中学校 片桐 勉・藤井ゆきの	○高橋 郁子(3) 渡辺 佳恵(3)	矢野 直子(3) 伏見 亜古(3)	鈴木 彩子(3) 猪岡 亜紀(2)	佐藤 利枝(3)
東北	青森	弘前市立第一中学校 高屋 仁・斎藤吏可子	○溝江 圭美(3) 工藤 佳子(2)	鈴木 綾子(3) 岡本 朋子(2)	尾崎 由美(3) 笹 真由美(2)	花田 薫(2)
		武蔵野市立第四中学校 松好 賢直・吉沢由美子	○石川 祥子(3) 阿部 則子(3)	梅崎 知子(3) 安藤 佳代(3)	平田 朝子(3) 梶浦 一美(3)	丹野 雅美(3)
関東	埼玉	鳩ヶ谷市立里中学校 峰岸 早苗・荻野 妙子	○末吉 牧美(3) 斉藤 礼子(3)	諸岡由紀江(3) 島崎 香織(3)	国府田真美(3) 加藤美佐江(3)	千種美保子(3)
	栃木	宇都宮市立鬼怒中学校 神長 信夫・塩田 恵美	○高岡 千穂(3) 鈴木 洋子(2)	小松 隆子(3) 斉藤 忍(1)	柳田 晃代(3) 大久保弘美(1)	佐々木由紀子(3)
	栃木	真岡市立真岡中学校 久野 信弘・大久保路子	○大塚 久美(3) 小川 直里(3)	浅山 教江(3) 山本 由美(3)	内藤 純子(3) 田宮 昌代(3)	阿久津美奈(3)
	石川	宇ノ気町立宇ノ気中学校 杉本 秀紀・油井 麻貴	○村田 佳苗(3) 喜多 素子(3)	杉本 圭子(3) 森 亜由美(3)	油野希永子(3) 宮村 恵子(3)	本郷美佐子(3)
北信越	石川	高松町立高松中学校 金津 真禎・谷中 清悟	○中橋 利美(3) 岸 厚子(3)	川端 幸恵(3) 竹中 友美(3)	倉 富美子(3) 狩谷 奈々(3)	喜多由紀子(3)
	愛知	大府市立大府西中学校 清水 光夫・新美 理恵	○石川 洋子(3) 阿部 和代(3)	竹本 直子(3) 小向 妙子(3)	上村 知絵(3) 原 香織(2)	大宅 由里(3)
近畿	大阪	四條 畷 学 園 中学校 杉田 忠邦・仲尾 信一	○坂田 美佐(3) 玉村 由紀(2)	水井妃佐子(3) 松田 洋子(1)	利川 三貴(3) 池端 美和(1)	磯山 亨子(2)
	兵庫	加古川市立中部中学校 池上 誠三・村上 直美	○吉田 裕子(3) 渋谷 美保(2)	安原貴美子(3) 西直 泰代(3)	川田さおり(3) 太田 紀子(2)	山浦佐千子(3)
	大阪	摂津市立第一中学校 宮林 幸三・大賀 美和	○長谷 年子(3) 竹下 有貴(3)	尾白由里子(3) 高谷 千枝(3)	西川 桃代(3) 大賀 美和(3)	土屋 美月(3)
中国	岡山	岡山市立岡北中学校 岡本 次郎・坂手 典子	○中丸真規子(3) 安藤 弘美(3)	宇野 綾(3) 明神 由紀(3)	片山 朋子(3) 須々木昌子(2)	溝渕 真規(3)
四国	香川	香川町立香川第一中学校 新 建二・長尾 文代	○六車 澄子(3) 村尾 佳美(3)	古田 幸代(3) 小野 晶子(3)	米崎由紀子(3) 百相 美(3)	塩田恵理子(3)
九州	熊本	熊本市立西山中学校 畠山 篤・堀内 七重	○松田 治子(3) 浅尾 章子(1)	森 揮美子(3) 條 弘子(1)	栗田 芳(3) 西坂小百合(1)	阪本 雅子(2)
	宮崎	宮崎市立宮崎西中学校 藤森 茂次・丸尾 重俊	○押川 生子(3) 堀 恵美(3)	川崎 香子(3) 佐藤 美抄(3)	妹尾美穂子(3) 中村 昌栄(3)	松尾 薫(3)
開催地	栃木	真岡市立真岡中学校 塚原 紀子・堀田 令子	○飯塚友紀子(3) 増山 優子(3)	猪瀬 裕子(3) 青木理恵子(3)	池上 直美(3) 高瀬 広子(3)	金子 倫花(3)

# 出場選手名簿

(男子個人)

ブロック名	都道府県名	学校名 監督名・マネージャー名	選手名(単)	都道府県名	学校名 監督名・マネージャー名	選手名(複)
北海道	北海道	旭川市立広陵中 山口 貢・	古川 英樹(3)	北海道	滝川市立江陵中 若松 重義・	末村 利彦(3) 佐藤 嘉伸(3)
	北海道	砂川市立碎川中 仲面 孝男・	斉藤 実(2)	北海道	札幌市立北陽中 佐藤 則之・新保 直人	桜田 孝志(3) 平野 朝也(3)
東北	青森	弘前市立第一中 山内 時治・対馬 佳孝	三橋 健一(3)	岩手	雫石町立雫石中 多田美保子・欠端 誠	志田 広(3) 高橋 功行(3)
	岩手	雫石町立雫石中 多田美保子・欠端 誠	古館 英樹(3)	青森	弘前市立第一中 山内 時治・対馬 佳孝	山口 英治(2) 福士 誠(2)
	青森	弘前市立第一中 山内 時治・対馬 佳孝	船水 武司(2)	宮城	仙台市立袋原中 安住 裕・高橋 靖則	佐藤 文彦(3) 菊地 洋(3)
関東	茨城	明野町立明野中 神立 喜文・西村 聡史	高橋 裕之(3)	神奈川	横浜市立金沢中 後藤 秀清・藤井 康友	鈴木 昭夫(3) 市野 透(3)
	栃木	宇都宮市立旭中 黒川 雄才・石塚 宣利	磯部 和弘(3)	茨城	明野町立明野中 神立 喜文・西村 聡史	中島 祐二(3) 飯泉 哲也(3)
	茨城	阿見町立阿見中 浅野 寛治・西川 佳伸	国府田唯克(3)	東京	杉並区立天沼中 小川 美治・末広 喜樹	杉川 博之(3) 高木 則雄(3)
	東京	町田市立真光寺中 加藤 久典・葭野 真也	榎本 堅一(3)	東京	立川市立立川第八中 渡辺 重己・佐久間弘光	杉谷 毅(3) 田中 剛(3)
北信越	石川	七塚町立河北台中 森川 徹・池上 公之	北井 淳(3)	石川	宇ノ気町立宇ノ気中 野川 徹・山本 剛	藤島 浩司(3) 藤森 隆(3)
	福井	勝山市立勝山南部中 森下 昭美・近藤 一斉	上田 健吾(3)	富山	上市町立上市中 高島 由順・細川 宣義	辻口 健次(3) 吉房 隆彰(3)
東海	静岡	伊東市立伊東南中 斉藤 俊仁・山本 裕子	片山 卓哉(3)	静岡	伊東市立伊東南中 斉藤 俊仁・山本 裕子	桜井 三好(3) 久保田雄三(3)
	岐阜	笠松町立笠松中 岩田 親典・	尾藤 伸治(2)	三重	小俣町立小俣中 西山 好一・松田 健	喜多 良行(3) 辰己 幸宏(3)
近畿	大阪	四條畷学園中 仲尾 信一・杉田 忠邦	小河原 崇(3)	滋賀	大津市立堅田中 徳田 正・村上 隆三	安藤 仁(3) 行松 俊樹(3)
	奈良	奈良市立二名中 大西 孝依・山口 純子	中嶋 健史(3)	大阪	四條畷学園中 仲尾 信一・杉田 忠邦	有田 圭一(3) 見市 武史(3)
	奈良	奈良市立二名中 大西 孝依・山口 純子	林田 知之(3)	滋賀	大津市立堅田中 徳田 正・村上 隆三	辻 清和(3) 岡本 広則(3)
中国	岡山	岡山市立芳泉中 柳本 堯敏・杉原 弘子	中井 康博(3)	岡山	岡山市立芳泉中 柳本 堯敏・杉原 弘子	福山 琢也(3) 石井 繁之(3)
	鳥取	米子市立美保中 根平雄一郎・	渡辺 勉(3)	山口	下関市立彦島中 有澤 敏文・	倉永平 敏史(3) 岡平 透(3)
四国	香川	高松市立一宮中 笹村 恵子・長町ふみ子	奥田 貴士(3)	香川	高松市立一宮中 笹村 恵子・長町ふみ子	河合 雄太(3) 福家 正登(3)
	高知	高知市立愛宕中 坂本 健嘉・	梶原 卓(3)	香川	高松市立勝賀中 石川 貴義・北谷 桃	俣崎 慎二(3) 加藤 周二(3)
九州	沖縄	糸満市立三和中 城間 明・屋宣美佐子	金城 勉(3)	熊本	熊本市立桜山中 増田市子・入駒 慎吾	三国 裕典(3) 寺本 王子(3)
	熊本	熊本市立京陵中 今村 孝利・	松浦 二郎(3)	熊本	岱明町立岱明中 中村 浩史・石原 正夫	田上 厚志(3) 本田 和裕(2)
	熊本	岱明町立岱明中 中村 浩史・石原 正夫	霜上 和宏(3)	熊本	熊本市立桜山中 増田市子・入駒 慎吾	清原 稔(3) 池田 憲一(3)
開催地	栃木	小山市立小山第二中 山崎 秀男・臼井 康子	橋本 浩宣(3)	栃木	上三川町立上三川中 猪瀬 藤衛・川又 和子	上野 惠範(3) 上野 政幸(3)

## 出場選手名簿

(女子個人)

ブロック名	都道府県名	学 校 名 監督名・マネージャー名	選手名(単)	都道府県名	学 校 名 監督名・マネージャー名	選手名(複)
北海道	北海道	上砂川町立上砂川中 袴田 鉄美・玉置 千春	田村 亜紀(3)	北海道	上砂川町立上砂川中 袴田 鉄美・玉置 千春	蝦名 美輪(3) 時長 真樹(3)
	北海道	芦別市立啓成中 石井久二夫・小竹 善子	中垣真紀子(3)	北海道	上砂川町立上砂川中 袴田 鉄美・玉置 千春	市瀬 陽世(3) 林 夕起子(2)
東北	宮城	聖ウルスラ学院 片桐 勲・藤井ゆきの	矢野 直子(3)	青森	弘前市立第一中 高屋 仁・斉藤吏可子	溝江 圭美(3) 尾崎 由美(3)
	青森	弘前市立第一中 高屋 仁・斉藤吏可子	鈴木 綾子(3)	岩手	雫石町立雫石中 多田美保子・欠端 誠	桜田 貞子(3) 袖林真貴子(3)
	青森	常盤村立明德中 五十嵐恭也・	工藤符記子(3)	宮城	聖ウルスラ学院 片桐 勉・藤井ゆきの	鈴木 彩子(3) 高橋 郁子(3)
関東	栃木	宇都宮市立鬼怒中 神長 信夫・佐々木由紀子	高岡 千穂(3)	茨城	石岡町立石岡中 富田 浩之・小吹 夏子	逸見 信子(3) 吉水 浩美(3)
	栃木	宇都宮市立一条中 坂本 亨子・	中村 幸以(1)	東京	武蔵野市立第四中 松好 賢直・吉澤由美子	平田 朝子(3) 丹野 雅美(3)
東	東京	杉並区立大宮中 長田 重孝・堀田 道子	高麗絵里子(3)	栃木	上三川町立上三川中 川石 和子・猪瀬 藤衛	猪瀬 成子(3) 猪瀬ゆり香(3)
	群馬	桐生市立桐生中 馬場 昌明・小室 泰博	加藤 美香(3)	茨城	明野町立明野中 神立 喜之・岡野 春美	加藤 恵(3) 田村 美咲(3)
北信越	石川	高松町立高松中 金津 真禎・谷中 清悟	中橋 利美(3)	石川	宇ノ気町立宇ノ気中 杉本 秀紀・蔵本 章夫	杉本 圭子(3) 油野希永子(3)
	福井	勝山市立勝山中部中 伊藤 弘之・横川 真生	織田ひとみ(3)	福井	福井市立光陽中 浜辺 弘一・野村 和雄	岑吉 幸子(3) 堀川美紀子(3)
東海	静岡	伊東市立伊東北中 鈴木 秀輝・阿武野光潤	中村富美子(3)	三重	小俣町立小俣中 伊豆 土子・松田 健	正住さおり(3) 荒木 美奈(2)
	岐阜	高富町立高富中 加納 博明・村橋 一成	矢島 優子(3)	愛知	愛知淑徳中 鈴木 洋子・宇佐美徳子	小林 真理(3) 桜井 恭子(3)
近畿	大阪	四條畷学園中 杉田 忠邦・仲尾 信一	水井妃佐子(3)	滋賀	草津市立草津中 西村 金治・北川 泰子	西田美由紀(2) 国分 美和(2)
	大阪	四條畷学園中 杉田 忠邦・仲尾 信一	坂田 美佐(3)	奈良	奈良市立富雄南中 柿内 順子・茶谷 正美	大塚 恵(3) 菅野 順伊(3)
	兵庫	園田学園中 戸井 孝・平田 順子	小泉 友紀(3)	大阪	四條畷学園中 杉田 忠邦・仲尾 信一	玉村 由紀(2) 利川 三貴(3)
中国	広島	広島市立瀬野川中 平野 薫・	桑村 幸子(3)	岡山	岡山市立岡北中 岡本 次郎・坂手 典子	中丸真規子(3) 片山 朋子(3)
	岡山	山陽女子中 山崎 恵子・	横田 裕子(3)	岡山	岡山市立岡北中 岡本 次郎・坂手 典子	宇野 綾(3) 溝渕 真規(3)
四国	香川	香川町立香川第一中 新 健二・長尾 文代	六車 澄子(3)	香川	香川町立香川第一中 新 健二・長尾 文代	古田 幸代(3) 村尾 佳美(3)
	香川	高松市立勝賀中 石川 貴義・北谷 桃	秋山 裕美(3)	香川	香川町立香川第一中 新 健二・長尾 文代	米崎由紀子(3) 塩田恵理子(3)
九州	熊本	熊本市立京陵中 今村 孝利・後藤 利子	宮村 愛子(3)	熊本	熊本市立西山中 畠山 篤・森 揮美子	松田 治子(3) 阪本 雅子(2)
	熊本	熊本市立京陵中 今村 孝利・後藤 利子	松本 理恵(3)	熊本	熊本市立楠中 近藤 敏捷・中野由香子	松本 真子(3) 緒方 真弓(3)
	熊本	八代市立第二中 上田 恵・	満田 とも(3)	熊本	熊本市立京陵中 今村 孝利・後藤 利子	小原 康代(3) 鈴木 洋子(2)
開催地	栃木	小山市立小山第二中 山崎 秀男・臼井 康子	青木 久恵(3)	栃木	宇都宮市立鬼怒中 神長 信夫・佐々木由紀子	小松 隆子(3) 鈴木 洋子(2)

過 去 の 栄 冠

男子団体

年	開催地	回数	優勝		準優勝		三位		
			都道府県 学校名	監督名 マネージャー名	選手名	都道府県 学校名		監督名 マネージャー名	選手名
1971	東京都	第1回	滋賀県	西橋 義仁 井人 初男	西村 金治・清水 正和 小野 洋・丸岡 俊治 平尾 光彦・広瀬 克美	福井県	岡本 政幸	長谷川 博幸・西片 将輝 増田 勝三・坂口 輝政 古沢 豊一・藤井 一	奈良県 富山県
1972	名古屋市	第2回	奈良県	木村 寛 上田 耕作	巻井 善雄・堀切 健美 吉岡 伸浩・岡田 和夫 小倉 久和・平山 公洋	石川県	森川 徹 高田 一郎	牧野 裕・大門 利昭 酒井 直人・西川 慎一 岡田 常雄・山下 教明	福井県 熊本県
1973	宇都宮市	第3回	滋賀県	森田 紀嗣 木村 孝英	寺元 昇・山田 力男 北橋 進・山之内 徹 山岡 清秀・西山 博司	栃木県	塚原 紀子 杉山すみ	猪瀬 博明・水野 谷厚 小野 泰・佐通 弥一 船生 芳男・山口 浩一	奈良県 兵庫県
1974	東京都	第4回	滋賀県	藤原 健二 森田 紀嗣	西山 博司・矢部 忠司 吉田 繁喜・西岡 秀和 山田 和樹・宇野 野垣	福井県	岡田 政幸 富田 則子	上田 政広・玉村 琢二 前川 勇一・海道 昌孝 大阪 哲嗣・武田 幸一	埼玉県 福岡県
1975	東京都	第5回	熊本県	長野 寛 本石 幸一	本石 俊徳・舞鶴 庄蔵 酒井 正彦・甲斐 秀敏 鎌ヶ 泊一生・三次 圭介	滋賀県	高橋 茂正 徳谷 正	滝川 正・桑野 至 宮本 弘・岩坂 弥一 中川 晴司・保村 正浩	奈良県 埼玉県
1976	仙台市	第6回	熊本県	長野 寛 加藤 泰憲	権藤 浩二・原口 好弘 村岡 泰彦・三次 圭介 村上 英介・井上 哲章	栃木県	斎藤 信 上弥 充雄	馬場 良浩・尾田 史明 小野 正・高橋 安則 赤羽 利幸・坂本 幸夫	宮城県 奈良県
1977	伊勢市	第7回	熊本県	原 健身 長野 寛	高木 裕二・井上 哲章 堺 圭一・松川 和裕 丸山 隆・本石 大介	栃木県	塚原 紀子 水沼 宏	大島 正志・大堀 円 石下 稔・山口 純一 猪瀬 和己・上野 祥二	神奈川県 埼玉県
1978	名古屋市	第8回	神奈川県	須田兼三郎 鹿内 利保	杉山 文則・豊田 裕 奈良 秀行・上床 宣孝 平野 涉・中村 泉	熊本県	長野 寛 今村 孝利	伊藤 幸男・福田 和幸 東田 俊郎・山口 浩二 幸男・三沢 英昭	栃木県 埼玉県
1979	神戸市	第9回	大阪府	出口 健次 中田 守	前川 正則・杉本 吉男 見市 昌弘・福田 真吾 村上 勲・鶴岡 真吾	茨城県	神立 喜文 小島 一夫	江原 均・朝香 学 森 昭弘・大輪 敏弘 武藤 義教・横尾 宣幸	栃木県 新潟県
1980	熊本市	第10回	東京都 調布市立 第四中	梶山 松良	福田 昭典・谷 竜次 瀬木 啓之・正岡 勝年 本川 伸逸・藤沢 和男	埼玉県 越谷市立 栄進中	加藤 勝	猪俣 祐二・長内 裕一 藤大 勇一・杉浦 雅之 大島 博昭・中島 次郎	伊東市立 南井市立 福成和
1981	奈良市	第11回	熊本県 熊本市立 桜山中	増田 市子	勝木 俊夫・鶴田 直行 久根 謙一・山下 豊彦 阿久根 哲也・藤村 春文	北海道 滝川市立 江陵中	若松 重義	佐藤 広志・佐藤 智雄 中居 靖人・中川 豊良 西 学・松浦 良紀	越谷市立 栄進中 横浜市中 戸塚中
1982	新潟市	第12回	福井県 福井市立 光陽中	江岸 徹	佐藤 輝行・堤 清史 田中 幹男・水野 勝年 木林 宏次・高橋 和男 佐竹 武夫	埼玉県 越谷市立 栄進中	加藤 勝	石橋 隆・村沢 寛幸 大島 憲児・藤坂 恒志 藤村 裕之・水谷 浩幸 山内 一志	横浜市立 戸塚中 大阪府 大田区 学園中
1983	新庄市	第13回	熊本県 熊本市立 桜山中	増田 市子	紙谷 高志・久住 猛 小本 義久・小本 秀男 歌津 誠也・中村 伸哉 富永 大	茨城県 明野町立 明野中	小島 一夫	大吉 晴夫・島田 孝二 大和田 勉・木村 猛 杉山 善治・島田 聡 直井 恒一	戸田市立 戸田中 越谷市立 栄進中
1984	大阪市	第14回	埼玉県 越谷市立 栄進中	加藤 勝	岡本 英基・石井 隆 大畑 昭一・田口 町彦 関根 英勝・小屋町 昭裕 須賀 隆弘	栃木県 小山市立 小山第二中	大根田 康子	秋津 玲治・斉藤 佳晴 平野 泰宏・佐賀 史昭 江連 忠雄・大塚 幸一 田中 匡	上野市立 上野市中 滝川市立 江陵中
1985	登別市	第15回	熊本県 熊本市立 岱明中	高峯 彰子 江口 英二	高村 誠也・境 恵司 中野 陽介・西村 竜時 春野 秀信・牛丸 哲也 霜上 和宏	富山県 上市町立 上市中	高島 由順 藤 岳志	池田 真明・高橋 清史 種 浩章・長原 昭博 沢 淳悦・沢田 義勝 界 淳一	滝川市立 江陵中 越谷市立 栄進中

過去の栄冠

女子団体

年	開催地	回数	優		勝		準		優		三位
			都道府県 学校名	監督名 マネージャー名	選手名	都道府県 学校名	監督名 マネージャー名	選手名	都道府県 学校名	監督名 マネージャー名	
1971	東京都	第1回	大阪府	渡辺真規子 杉田 忠邦	瀬野 清美・山本 邦子 山下美恵子・植野恵美子 広瀬 純子・秋本美津子	新潟県	遠藤 武也 後藤 和子	道端恵美子・落田 典子 池田 信子・前田 恵美 落田 陽子・藤田美智子	岡山県 岡富山		
1972	名古屋	第2回	大阪府	杉田 忠邦 佐藤 嬉子	植野恵美子・秋本美津子 山本 邦子・河村 裕子 北村寿弥子・石川 好子	奈良県	木島 敬博 里見 多聞	岩井 史子・中西 利子 吉谷 育子・奥谷 尋子 西川由賀里・桐山 綾子	滋賀県 東京		
1973	宇都宮	第3回	滋賀県	飯田 照男 中川 朋子	小西紀代子・川崎 泉 黒岩 正子・岡本 久子 柴田 真弓・三上 孝子	東京都	平田登志郎 池田 昌道	徳永 順子・水野ふみ子 流 加代子・加藤 幸子 寺島由紀子・長谷川佳子	新潟県 新福井		
1974	東京都	第4回	大阪府	杉田 衷邦 渡辺真規子	河村 茂美・阿部 俊子 馬場 恭子・平 久美子 陳 福輝・金子 房子	熊本県	野々口清介 広瀬 邦照	野中 弘美・相良 裕美 中村美世子・高松久仁子 原口 恵子・河内まゆみ	富山県 富山		
1975	東京都	第5回	熊本県	野々口清介 山本 義人	高松久仁子・原口 恵子 川添 安代・相良裕美 高峰 彩子・松末嘉代子	北海道	袴田 鉄美 西森 幹彦	小塚 理世・児玉 和美 中村 悦子・柳沼 瑞代 佐藤 朱美・高松みどり	大阪府 大福井		
1976	仙台	第6回	滋賀県	飯田 照男 久保 明雄	西村美千代・青山 寿美 高崎 敏子・若見 洋子 倉見 安世・磯野恵理子	大阪府	杉田 忠邦 水井 良平	北田スミ子・松田 全代 大関恵津子・植田日出子 田中かゑる・山口 典子	熊本県 熊玉		
1977	伊勢	第7回	熊本県	野々口清介 中田 秀夫	高峰 和子・松永嘉代子 森本美佐子・志水さとみ 陣内貴美子・中村 由美	北海道	袴田 鉄美 西森 幹彦	高橋 とみ・佐藤 啓子 藤永 由香・西岡 孝子 松山 早苗・佐々木久江	滋賀県 香川		
1978	名古屋	第8回	熊本県	野々口清介 葺原 健身	陣内貴美子・橋口 潤子 一村 由美・井村 由美 森山 弘美・高峰 尚子	神奈川	須田兼三郎 鹿内 利保	金子 直枝・松岡 典子 大岩 弘枝・大竹真紀子 熊沢加代子・屋代 利子	大阪府 大崎玉		
1979	神戸	第9回	熊本県	原 健身 後藤 早苗	森山 弘美・高峰 尚子 三由 純子・上村 美香 大島みどり・平山真由美	大阪府	杉田 忠邦 北村寿弥子	松田太嘉子・押切 美喜 石井 香澄・鴻原 春美	埼玉県 神奈川		
1980	熊本市	第10回	熊本県 熊本信愛 女子院中	兼子 春美	上村 美香・青木きよみ 東山 薫・山田 美紀 平井真由美・佐藤由美子	大阪府 四条 学園中	杉田 忠邦	鴻原 春美・原田いずみ 末房 政美・荒井 桂子 新木 貴子・市川 綾	川口市立 芝 香川第一中		
1981	奈良	第11回	大阪府 四象 学園中	杉田 忠邦	新木 貴子・和泉 昌子 片岡 明子・市川 綾 今村 薫・馬場 環	熊本県 熊本市立 出水中	吉島 哲哉	高田 美和・林 幸枝 本田 淳子・米津ゆかり 清水 尚美・米岡有紀子	越谷市立 栄進中 香川第一中		
1982	新潟	第12回	茨城県 明野 立明中	小島 一夫	関 富子・古宇田八重子 木住野かおる・本橋 優子 坂入 律子・坂入 悦子 松本 啓子	熊本県 菊地市立 菊地南中	西村 亮子	中原紀代美・田代美智代 安達 優子・毛利 千秋 田村真理子・岩男 徳子 河津美奈子	横浜市立 戸塚中 新潟市立 関屋中		
1983	新庄	第13回	茨城県 明野 立明中	小島 一夫	平塚 康愛・松本 啓子 赤城ひとみ・坂入 直美 大久保典江・関 裕子 穂積 千草	熊本県 熊本市立 京陵中	今村 孝行	西沢紀代美・渡辺喜美子 林 美布・内田美奈子 津下 郁恵・戸泉和加子 白畑 美和	石岡市立 石岡中 上砂川町立 上砂川中		
1984	大阪	第14回	大阪府 四象 学園中	杉田 忠邦	北川 実子・利川 貴子 三川 貴子・南里 泰子 南里 高子・岩田 良子 荒井 則子	青森県 弘前市立 第一中	高屋 仁	乳井 智秋・三浦美紀子 和泉美恵子・藤田 節子 佐々木由美子・田中 千賀 倉光 愛美	越谷市立 栄進中 熊本市立 京陵中		
1985	登別	第15回	熊本県 熊本市立 京陵中	今村 孝利 後藤 利子	金田 理恵・林 美枝 吉岡千恵子・高木 菊子 松本 本田 理恵・小原 康代 顯子	埼玉県 越谷市立 栄進中	加藤 勝 海野かおり	船津 佳子・早川恵美子 若井 清子・加賀ゆかり 西条みゆき・臼井ちかげ 山口 幸恵	四条 学園中 宇都宮市立 鬼怒中		

過 去 の 栄 冠

男子個人

年 回数	開催地	種 目	優 勝			準 優 勝			三 位	
			都道府県名 学 校 名	監 督 名	選 手 名	都道府県名 学 校 名	監 督 名	選 手 名	都道府県名 学 校 名	選 手 名
1980 第10回	熊本市	単	大 阪 四 条 暁 学 園 中	杉田 忠邦	見市 昌弘	熊 本 八 代 市 立 第 三 中	北村栄一郎	川本 英明	埼 玉 越 谷 市 立 進 中 大 四 条 暁 学 園 中	藤咲 栄一 福田 誠
		複	熊 本 玉 名 市 立 玉 陵 中	新居 健	三次 英昭 野 仲 伸 一 郎	熊 本 熊 本 市 立 桜 山 中	増田 市子	松川 稔己 福 田 洋 介	茨 城 阿 見 町 立 朝 日 中 奈 良 市 立 春 日 中	山ノ内政和 中村 雅俊 川井 健可 小野 満哲
1981 第11回	奈良市	単	熊 本 熊 本 市 立 桜 山 中	増田 市子	林 謙一	東 京 北 区 立 神 谷 中	杉村 克之	黒沢 武	青 森 大 鰐 町 立 大 鰐 中 大 四 条 暁 学 園 中	一戸 英樹 江藤 裕樹
		複	熊 本 熊 本 市 立 桜 山 中	増田 市子	鶴田 直行 山 下 豊 彦	埼 玉 鳩 ヶ 谷 市 立 里 中	峰岸 早苗	松元 功一 福 田 和 浩	福 井 福 井 市 立 成 和 中 栃 今 市 市 立 今 市 中	坂田 智洋 芦井 隆俊 柴田 直美 石川 勉
1982 第12回	新潟市	単	埼 玉 越 谷 市 立 栄 進 中	加藤 勝	石橋 隆	熊 本 長 州 町 立 長 州 中	高木 英俊	浜北 和彦	東 京 立 川 市 立 立 川 第 八 中 大 四 条 暁 学 園 中	加藤 正裕 早戸 敬雄
		複	埼 玉 戸 田 市 立 戸 田 中	永田 正彦	生井沢勝美 立 本 敬 人	福 井 福 井 市 立 光 陽 中	江岸 徹	提 田 中 清 忠 幹 男	茨 城 石 岡 市 立 石 岡 中 東 大 和 市 立 東 大 和 第 一 中	小室 浩之 緑川 剛 平野 信治 渡辺 正可
1983 第13回	新庄市	単	京 都 グ イ ア ト ー ル 学 園 洛 星 中	上杉 光弥	三角 典生	栃 木 今 市 市 立 今 市 中	斉藤 康明	大畑 均	北 海 道 旭 川 市 立 嵐 山 中 熊 本 市 立 出 水 中	三船 昌晴 畑野 宏幸
		複	熊 本 熊 本 市 立 桜 山 中	増田 市子	紙谷 高志 久 住 猛	北 海 道 滝 川 市 立 江 陵 中	若松 重義	谷口 久永 林 秀 行	新 潟 蕨 市 立 蕨 中 茨 阿 見 市 立 阿 見 中	梅田 毅 田中 忠夫 結束 雄二 堀之内 滋
1984 第14回	大阪市	単	奈 良 奈 良 市 立 二 名 中	山口 純子	中橋 一晃	熊 本 岱 明 町 立 岱 明 中	高峯 彰子	高村 誠也	石 川 宇 字 町 立 宇 字 中 大 津 市 立 皇 子 山 中	小池田 薫 鈴木草麻生
		複	栃 木 小 山 市 立 小 山 第 二 中	大根田康子	秋津 玲治 齊 藤 佳 晴	青 森 弘 前 市 立 第 一 中	上野 四郎	小野 武 山 本 秀 樹	埼 玉 越 谷 市 立 栄 進 中 石 七 塚 町 立 河 北 台 中	石井 隆 大畑 昭一 大塚 貴康 田丸 裕一
1985 第15回	登別市	単	熊 本 熊 本 市 立 岱 明 中	高峯 彰子	高村 誠也	北 海 道 陸 別 町 立 陸 別 中	根岸 邦昌	横山	奈 良 奈 良 市 立 二 名 中 青 森 弘 前 市 立 弘 前 第 一 中	中橋 一晃 工藤 康智
		複	青 森 弘 前 市 立 弘 前 第 一 中	山内 時治	加藤 正明 今 宣 仁	茨 城 明 野 町 立 明 野 中	神立 喜文	竹内 文規 物 井 哲 夫	青 森 弘 前 市 立 弘 前 第 一 中 熊 本 市 立 岱 明 中	大谷 知昌 佐々木正文 西村 竜 村中 陽介





# 昭和61年度 第16回 全国中学校選抜バドミントン大会実行委員会

委員 長	大 房 信 一(栃中体連 会長)		
副委員 長	小 池 文 司(専門部 部長)	遠 井 稔 男(県協会 理事長)	
	渡 辺 栄 一(栃中体連理事長)	塚 原 紀 子(専門部 副部長)	
顧 問	増 渕 増 雄(栃中体連 顧問)	田 中 和 雄(県教委指導主事)	
	嶋 田 和 信(栃中体連 理事)	川 島 作 造(専門部 前部長)	
事務局 長	佐 伯 一 之(専門部 委員長)		
事務局 次長	久 野 信 弘( " 真岡中)	渡 部 建 夫(中体連事務局長)	
総 務			
(委員 長)	佐 伯 一 之		
(副委員 長)	菊 地 三 郎(市教委 館長)	別 井 晃(県協会 理事)	
	上 田 精 一(市協会 理事長)	斎 藤 信(県協会 理事)	
(委 員)	久 野 信 弘	大 塚 哲 雄(体育館 次長)	
	新 井 毅(専門部 山前中)	森 田 昇(県協会 真女高)	
	館 野 政 男(県協会 真工高)	荒 井 美 恵子(県協会家庭婦人)	
	篠 原 隆(専門部 桑中)	山 崎 秀 男(専門部 小二中)	
	渡 辺 渡( " 泉が丘中)	飯 塚 淳( " 毛野中)	
	高 橋 正 義( " 中村中)	久 保 正(体育館 主事)	
	石 井 佳 子( " 足西中)	川 又 和 子(専門部上三川中)	
	永 井 佐 賀 恵( " 中村中)	坂 本 洋 子( " 大内中)	
	松 本 久 子( " 真岡中)	田 中 光 重( " 栃南中)	
	臼 井 康 子( " 小二中)	武 井 祥 子(県協会 宇農高)	
	神 長 信 夫( " 鬼怒中)	坂 本 子(専門部 一条中)	
	大 堀 円( " 豊岡中)	綱 川 玲 子( " 茂木中)	
	高 橋 フミ子( " 山辺中)	五 月 女 正 光( " 河内中)	
施 設			
(委員 長)	久 野 信 弘		
(副委員 長)	大 塚 哲 雄	新 井 毅	
(委 員)	石 塚 光 清(体育館 係長)	橋 本 由 美子(専門部 芳賀中)	
	国 井 和 子(専門部 茂木中)	桜 井 幸 雄( " 市貝中)	
	堀 田 令 子( " 真岡東中)	宇 賀 神 澄 生( " 陽北中)	
	福 田 耕 夫(体育館 主事)	川 上 由 美子(体育館 主事)	
審 判			
(委員 長)	森 田 昇		
(副委員 長)	篠 原 隆	館 野 政 雄	
(委 員)	新 川 稔(専門部 東陽中)	須 藤 弘(専門部 大平中)	
	小 松 原 唯 弘( " 小二中)		

記 録 報 道

(委員長)	山 崎 秀 男		
(副委員長)	渡 辺 渡	飯 塚 淳	
(委員)	阿 部 浩(専門部間々田中)	松 井 智 之(専門部 桑中)	
	長 文 男( // 石橋中)	吉 川 政 雄( // 足三中)	
	内 藤 雅 伸( // 今市中)	小 川 浩( // 落合中)	
	伊 藤 純 敬( // 小山中)		

式 典

(委員長)	高 橋 正 義		
(副委員長)	久 保 正	石 井 佳 子	
	川 又 和 子		
(委員)	古 谷 京 子(専門部 芳賀中)	吉 村 三津子(専門部 益子中)	
	森 英 治( // 本郷中)	古 口 節 子( // 足三中)	
	橋 本 静 江( // 足北中)	扇 延 子( // 旭 中)	

宿 交 通

(委員長)	永 井 佐賀恵		
(副委員長)	坂 本 洋 子	五 月 女 正 光	
(委員)	篠 崎 達 剛(専門部 宇付中)	猪 瀬 藤 衛(専門部上三川中)	
	坂 本 高 之( // 真岡中)	斎 藤 亘( // 益子中)	

救 護 衛 生

(委員長)	松 本 久 子
(委員)	佐 藤 恵 子(専門部 真岡中)

財 務

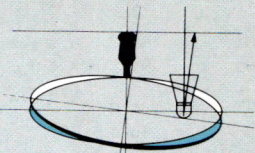
(委員長)	田 中 光 重		
(副委員長)	臼 井 康 子		
(委員)	尾 島 啓 子(専門部 真岡中)	金 子 典 子(専門部久下田中)	

またここに、世界特許T型ジョイントを内蔵し、  
なかからハイパワーを引き出します。  
凄いことはいつもヨネックスから。

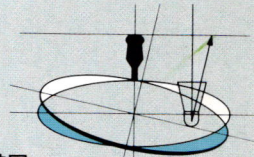
高密度設計といわれる100%高弾性カーボンを使用したCAB-20。そして高弾性カーボンとグラスファイバーを採用したCAB-18。共通していることは、世界から注目されているヨネックス独自のT型ジョイント内蔵ということ。この技術のなによりの特長は、かってないほど最小限にラケットのトルクを押し、ラケット面を安定させ、そのうえ広いスイートスポットが得られるというもの。ちなみに、他のジョイントレスラケットに比べると、CAB-20はなんと38%、CAB-18は25%もフレームのねじれ(トルク)をきっちり押えています。つまりこの違いが、他に類を見ない強烈なスイングパワーと安定したコントロール性を生み出します。これぞ

ヨネックスならではの技術です。今、ジョイントレスラケットは新しい、とはいえ真のジョイントレスラケットはどれかといえば、まさにこのシリーズ。世界一流プレイヤーからはもちろん、バドミントンをするすべての方から、熱い視線を浴びる理由は、ここにあり。

ヨネックスジョイントレスラケット



他のジョイントレスラケット



●トルク比較図

	<p><b>CAB-20</b> 色/マリンブルー・セピア</p> <p>Carbonex.20 ALL CARBON GRAPHITE RACKET</p>	<p>カーボネックス20 ¥16,000 フレーム・ケース付 100%高弾性カーボン(高密度設計)</p>
	<p>Carbonex 18 ALL CARBON GRAPHITE</p> <p><b>CAB-18</b> 色/シルバー・ゴールド</p>	<p>カーボネックス18 ¥13,000 フレーム・ケース付 高弾性カーボン+グラスファイバー</p>

BUILT-IN T-JOINT(内蔵T型ジョイント)

PAT. No./アメリカ:4575084 ベルギー:900154 南アフリカ:84/5176

特許・実用新案申請中/日本、イギリス、インドネシア 他世界12ヶ国

T型ジョイント

カーボン多重積層構造

ここが違う。  
だんぜん違う。

